

第20回「青松賞」懸賞論文審査結果

令和6年12月2日、「青松賞」懸賞論文選考委員会*が開催され、20件の応募から以下の通りの選考結果となりましたのでお知らせします。

優秀賞 大川 拓真（人文学部4年）

われわれは生成AIを「大学知」に活用できるか

嶋倉 敦紀（法学部4年）

AI裁判官は全自動判決機の夢を見るか？

本島 謙心（経済科学部3年）

AI開発における企業のオープン化行動に対する考察

奨励賞 八柳 響香（法学部2年）

AIと共生していくために

山田 皓也（経済科学部3年）

AIから日本のクリエイターを守るために

直江 悠冴（経済科学部4年）

普遍化するAIにおける倫理学的問題への姿勢～『AIの倫理学』を読んで～

以上6名

入賞者への表彰のご案内、選外の応募者への記念品贈呈の予定については、メールで皆様に連絡させていただきます。

受賞論文は別刷冊子を作成し希望の方に配布予定です。お申込み等は同窓会事務局まで連絡ください。

今回の審査結果は同窓会HPでも発表予定です。

※選考委員

人文学部長・法学部長・経済科学部長・同窓会長（書面審査）・同窓会事務局長 以上5名

（予告）第21回「青松賞」懸賞論文のテーマは

『分断化する世界』（仮題）

正式なテーマと募集要項は令和6年4月に発表します。同窓会HPでも発表予定です。

新潟大学人文・法・経済科学部同窓会^{せいしゅうかい}（青松会）事務局

メールアドレス dousou@econ.niigata-u.ac.jp

同窓会HP <https://www.niigata-u-jhk.com/>

TEL&FAX 025-262-6297/6429